

グループワークについて

1 グループ構成

進行・発表 記録 内閣府本府及び県の出席者は適宜フォロー

<新潟方面>

グループ A	長岡市 小嶋	長岡市 林	新潟市 平井	新潟市 島田	柏崎市 近藤
	見附市 高野	燕市 菊地	胎内市 長谷川	内閣府 橋本智	東京電力 林
グループ B	長岡市 栗原	新潟市 外石	刈羽村 吉田	燕市 高山	佐渡市 伊藤
	阿賀野市 金田	出雲崎町 関本	エネ庁 小竹	東京電力 白井	

<魚沼方面>

グループ C	長岡市 黒島	柏崎市 砂塚	小千谷市 笹崎	十日町市 渡邊	南魚沼市 井口
	津南町 山田	内閣府 瀬下	東京電力 白井		
グループ D	長岡市 植村	柏崎市 関矢	柏崎市 目崎	十日町市 高澤	湯沢町 熊谷
	市長会 武藤	規制事務所 海野	東京電力 新保		

<上越方面>

グループ E	長岡市 桜井	柏崎市 駒野	上越市 吉田	上越市 石野	妙高市 植木
	糸魚川市 竹田	規制事務所 出水	東京電力 猪俣		

2 進め方

進行：柏崎刈羽原子力規制事務所 副所長・原子力防災専門官 村上 弘 氏

(1) 通報連絡の説明(30分、場所：スクリーン前)

原子力事業者、国、県が、通報連絡文を、発災から時系列順に読み上げ、説明

(2) 演習(120分、場所：機能班エリア)

【課題】原子力災害時における国、県、市町村、原子力事業者の間の情報伝達と連携について検討する。

- ・中越沖地震と同規模の地震発生から、EAL1(警戒事態)、EAL2(施設敷地緊急事態、EAL3(全面緊急事態)の各段階における対応や関係機関の連携について、原子力事業者、国、県からの通報連絡等を参考に検討・意見交換を行う。
- ・国、県は、検討に当たって、アドバイス、フォローを適宜行う。
- ・話し合った内容を発表に向け記録係が記録する。

(3) まとめ(50分、場所：スクリーン前)

グループワークの結果報告(40分)

グループからの発表と意見交換。5グループ×8分目安

総括(10分)

国の出席者から全体を通して講評をいただく。